

八女市の財政状況

平成28年度予算 一般会計予算は356億5,500万円



平成28年度の一般会計予算総額は356億5500万円です。また、国の補正予算による平成27年度からの繰越事業を合わせると360億円を超える予算規模となりました。国民健康保険事業費などの特別会計の予算総額は217億8909万円です。水道事業会計予算総額は12億299万円となりました。

八女市では、市の財政状況を年2回公表しています。今回は、平成28年度予算の内容などをお知らせします。
広報紙では、それぞれの項目について簡素化して掲載していますが、「財政事情」は、企画財政課や市のホームページでも閲覧することができます。
お問い合わせ：企画財政課
(023・1346)

▼平成28年度特別会計予算

特別会計名	歳入歳出予算額
国民健康保険事業費	114億1,452万円
簡易水道事業費	6億4,613万円
住宅新築資金等貸付事業費	205万円
下水道事業	14億2,416万円
介護保険事業費	71億3,938万円
後期高齢者医療	9億8,608万円
農業集落排水事業	8,630万円
矢部診療所	6,533万円
黒木町串毛財産区	133万円
黒木町木屋財産区	870万円
黒木町大淵財産区	1,511万円
水道事業	12億299万円

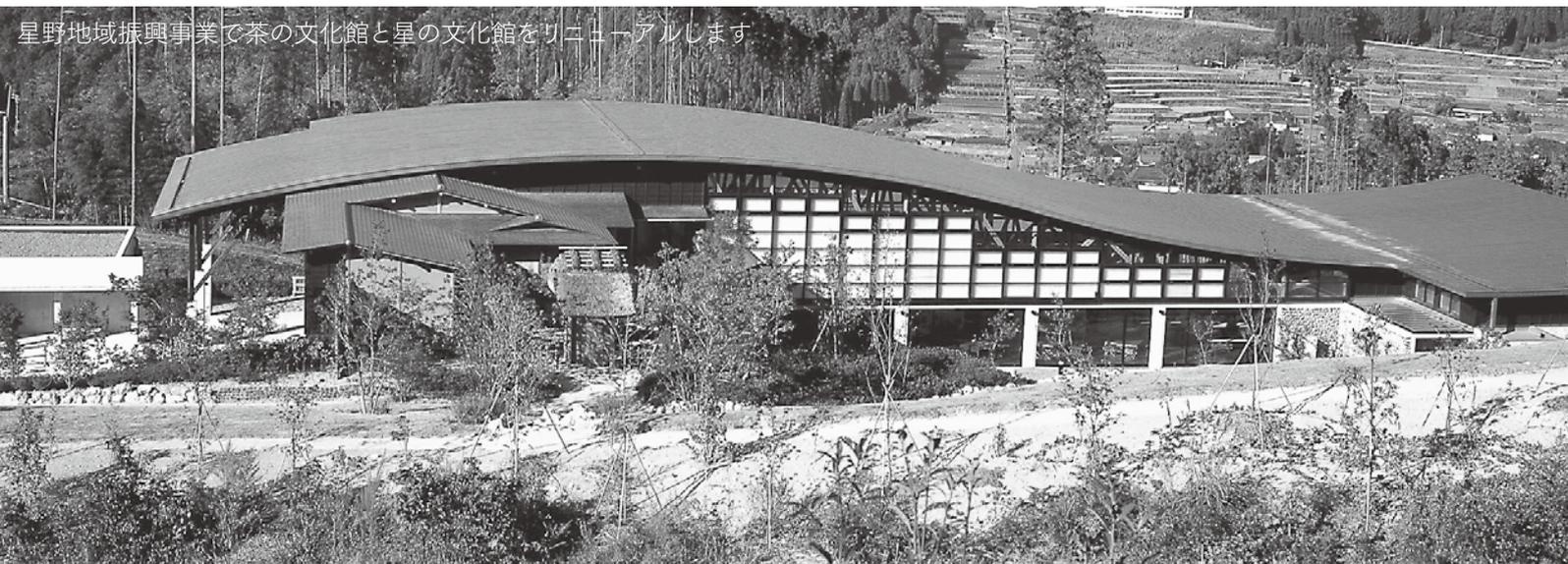
▼平成28年度市税(現年度分)の負担状況

区分	負担の状況	
	一人当たり	一世帯当たり
1 市民税	37,954円	102,644円
(1) 個人	32,423円	87,687円
(2) 法人	5,531円	14,957円
2 固定資産税	47,922円	129,605円
3 軽自動車税	3,184円	8,610円
4 市たばこ税	7,196円	19,464円
5 入湯税	220円	595円
合計	96,476円	260,918円

(平成28年2月29日現在 人口:66,046人 世帯数:24,421世帯)

注) 予算額÷人口・世帯数で算出しています。

星野地域振興事業で茶の文化館と星の文化館をリニューアルします



財政用語解説

歳入	1年間に市に入るすべての収入
歳出	1年間で市が活用するすべての支出
一般会計	総務費・民生費・土木費・教育費など、市の基本的な行政運営に必要な経費を計上した合計
特別会計	特定の事業を行うため、一般会計と区別して処理する会計

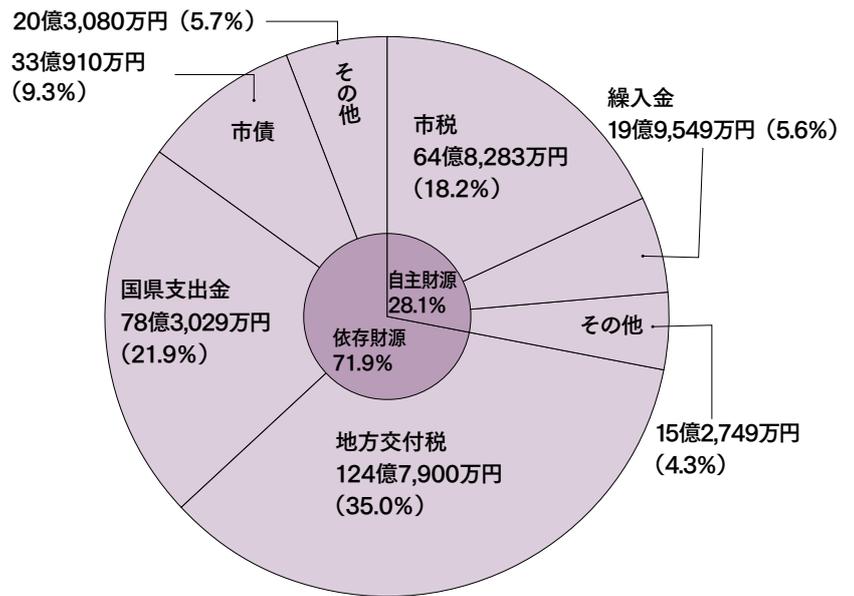
歳入用語

自主財源	市税や諸収入など、市が自力で集めるお金
依存財源	国や県の意思により、定められた額を交付されたり割り当てられたりして入るお金
市税	皆さんから市に納められるお金
地方交付税	所得税など国が徴収した税金の中から、市の財政状況に応じて交付されるお金
国県支金	事業など特定の目的の費用として、国・県から交付されるお金
市債	大きな事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金

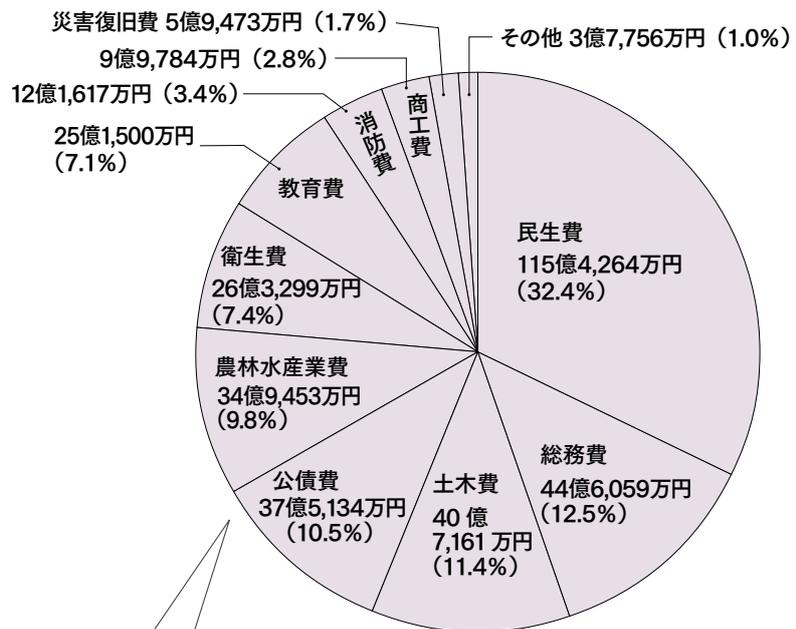
歳出用語

民生費	高齢者・しょうがい者・保育所などの福祉全般の事業に使うお金
総務費	課税徴収・住民窓口・選挙・統計などの事務に使うお金
土木費	道路・公園整備・住宅管理などに使うお金
公債費	市債の返済のために使うお金
農林水産業費	農業・林業等の振興に使うお金
衛生費	健康診断・予防接種・ごみ回収など、健康で衛生的な生活に使うお金
教育費	学校運営の費用や、市民会館・図書館・公民館など教育全般に使うお金
消防費	消防活動・消防施設の整備などに使うお金
商工費	商工業・観光の振興に使うお金
扶助費	生活保護法・児童福祉法・老人福祉法などの法令により、被扶助者に支給するお金
普通建設事業費	道路、学校など公共施設の整備などに使うお金
物件費	市が行う行政サービスの中で効果が短期間のものや、旅費・需用費・役務費などのような消費的性質のお金

歳入 356億5,500万円の内訳



歳出 356億5,500万円の内訳



歳出を性質別にみると…

扶助費	61億9,571万円 (17.4%)
補助費等	54億7,918万円 (15.4%)
普通建設事業費	52億756万円 (14.6%)
人件費	50億7,205万円 (14.2%)
物件費	44億4,217万円 (12.5%)
繰出金	41億7,988万円 (11.7%)
公債費	37億5,134万円 (10.5%)
その他	13億2,711万円 (3.7%)

1 マイホーム取得支援事業

市内に新たに住宅を取得した人に対し、取得費用の一部や固定資産税相当額を補助することで、定住および転入を促進し、地域活性化を図ります。



マイホーム取得への支援で定住促進を図る

2 定住促進対策事業

移住定住希望者に対し、居住や就労、暮らしに係る情報発信、相談窓口のワンストップ化を図るために移住定住・交流センター（仮称）を新設します。また、都市圏での移住相談会の開催や移住を検討されている人に、仕事付きの生活を短期滞在により体験してもらうなどの事業を行うことで、移住定住の促進を図ります。



首都圏での定住フェアで八女市をPR

3 星野地域振興事業

星野地域の観光拠点として地域の振興に大きな役割を果たしてきた施設である「星の文化館、茶の文化館」において、地域イメージの向上やさらなる観光入込客の増加を図るため、施設および展示物の改修を行います。

4 ものづくり推進事業補助金

市内の小規模事業者等におけるものづくりを推進するため、製造業において新商品の開発や製造に取り組む場合、専門家の派遣や共同開発および新製品の製造に向けた機械器具等の導入に要する経費に対して、その一部を市補助金として交付し、市内におけるものづくりの推進を図ります。

今年度の主な事業

◎ 快適で安全・安心な暮らしを支える基盤づくりと都市機能の充実

●乗合タクシー運行事業	7,055万円
●道路・河川改良事業	13億415万円
●防災対策事業	3,295万円
●消防関係施設設備等整備事業	6,444万円

◎ 人と自然にやさしく、暮らしやすい生活空間づくり

●マイホーム取得支援事業※1	2,000万円
●定住促進対策事業※2	1,390万円
●道路河川愛護活動事業	700万円
●伝統的建造物群保存修理事業	1億910万円
●住宅改修費補助事業	800万円
●雇用促進住宅改修事業	2億8,728万円

◎ 地場産業・観光の振興と地域資源を生かした新産業創出、雇用の確保

●八女材普及促進住宅資材助成事業	2,250万円
●矢部地域振興事業	9,000円
●星野地域振興事業※3	3億9,130万円
●新規創業者および新事業展開補助事業	1,200万円
●ものづくり推進事業補助金※4	1,000万円
●伝統工芸等承継者育成事業	720万円

◎ 少子・高齢社会に対応し、自分らしく、安心して暮らせるまちづくり

●健康づくりフェスタ推進事業※5	402万円
●介護予防事業	7,177万円
●乳幼児・こども医療対策事業※6	1億5,450万円
●子ども・子育て支援事業	16億5,853万円
●やめっこ夢祝金支給事業	3,036万円
●やめUIターン子ども応援手当支給事業	615万円
●路線バス通学定期補助事業	835万円

◎ 生きる力の育成と豊かな心を育てるまちづくり

●学力向上推進事業	8,862万円
●入学祝金事業	4,180万円
●大淵体験交流施設管理運営事業※7	2,853万円
●田崎廣助美術館運営事業※8	1,670万円
●民俗文化財の保存と継承	738万円

◎ 市民とともに歩み、市民とともに進めるまちづくり

●まちづくり協議会の活動支援強化事業	3,602万円
●姉妹・友好都市交流事業	692万円



健康づくり事業

5 健康づくりフェスタ推進事業

市民一人一人の健康意識の向上と健康増進を目的に市民参加型健康イベントとして、健康づくりフェスタを開催します。また、「スポーツ・健康づくり都市宣言」を実施することで、より積極的に健康づくりを実践し、健康寿命の延伸を図ります。

6 乳幼児・こども医療対策事業

乳幼児の入院・通院に係る医療費の助成、小・中学生の入院に係る医療費の助成に加え、平成28年10月診療分から、小学生の通院に係る医療費の助成を拡大します。



7 大淵体験交流施設管理運営事業

自然を活かした体験活動ならびに近隣施設と連携したスポーツ・レクリエーションの拠点施設として、交流人口の増加と地域の活性化を図ります。施設の利用促進を図るため、学校・企業・各種団体へ広くPRするとともに、さまざまな事業を展開します。



げんき館おおぶち

8 田崎廣助美術館運営事業

八女市立花町出身の洋画家で日本藝術院会員・文化勲章受章 田崎廣助氏の優れた絵画作品や関連資料を収集、保存・展示を通じ画業を顕彰するとともに、市民の芸術文化に対する親しみと理解向上に努めます。

一般会計市債・基金残高の推移

(単位:億円)



注：平成26年度までは決算、平成27・28年度は見込み

市債（市の借金）の残高は、借り入れの抑制等により、毎年度減少し、平成28年度末には281億円となる見込みです。基金（市の貯金）の残高は、平成28年度末には201億円となる見込みです。



八女市田崎廣助美術館